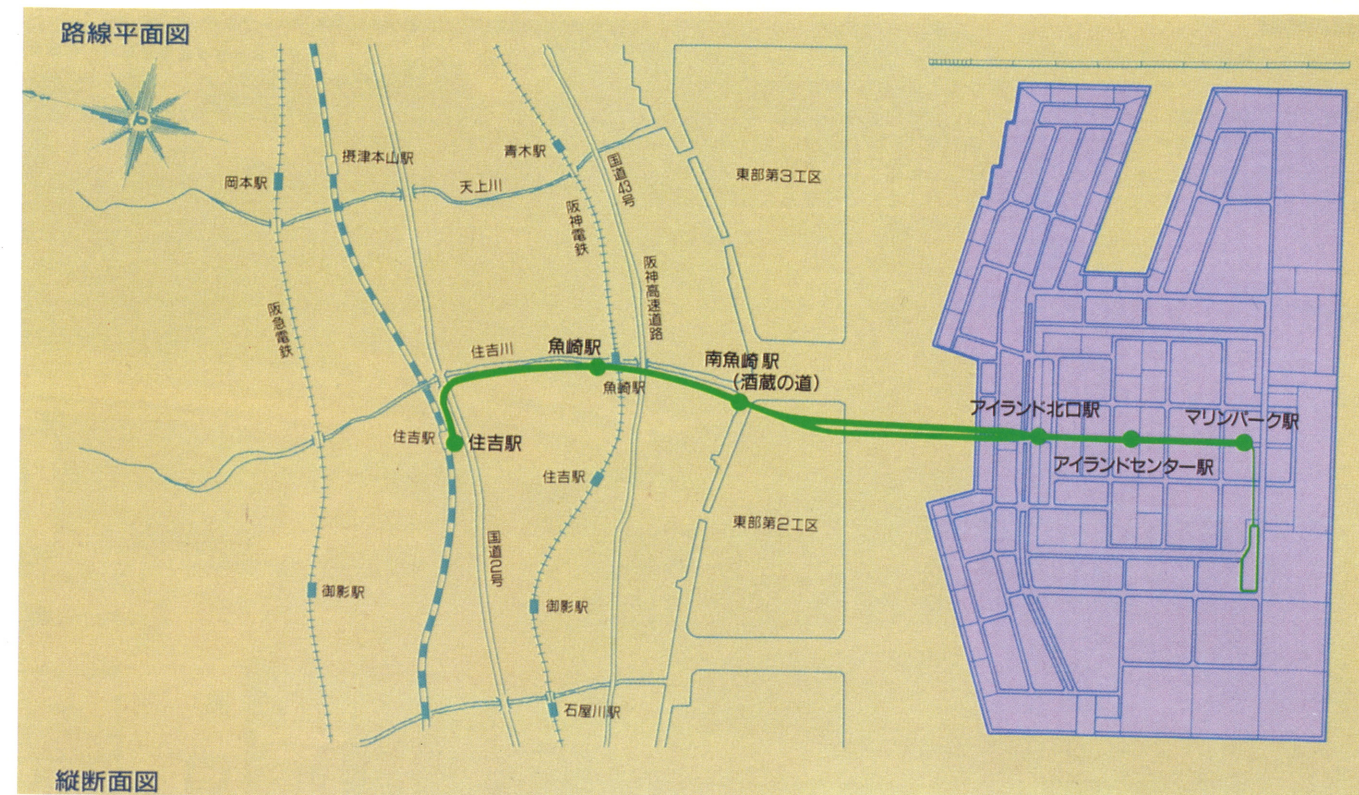


全国街路事業促進協議会
会長賞

■神戸新交通六甲アイランド線整備事業 (表彰対象者: 神戸市企画調整局
神戸新交通株式会社)



魅力ある新たな海上文化都市



アイランド北口駅 Island kitaguchi



神戸新交通六甲アイランド線
The New Transit System
(Rokko Island Line)

- ・営業区間総延長4.5km(全線複線)
- ・駅数6駅(市街地3駅、島内3駅)
- ・JR住吉駅～阪神魚崎駅～六甲アイランド
- ・'90(H2).2開業
- ・輸送能力 最大1万人/時(片方向)

路線の概要

開業日 平成2年2月21日

愛称 六甲ライナー

営業区間 住吉駅～マリンパーク駅

営業キロ 4.5キロ

駅数 6駅(うち3駅は無人駅)

車両数 36両(4両×9編成)
最終72両(6両×12編成)

運転間隔 朝ラッシュ5分 昼間10分

速度 最高60km/h 表定28km/h

乗客数予測 平成元年度9千人 最終(10年度)54千人
(1日当たり)

建設費 約419億円(インフラ部222億円、インフラ
外部197億円)

路線の特徴

当路線は、東灘区の生活都心・住吉と海上文化都市六甲アイランドを結ぶ基幹的交通インフラとして昭和61年9月に工事が着工された。営業区間は4.5kmで、この間に6つの駅を配置し、沿線の地域の特色や景観を配慮した駅デザインによって、親しみのある環境形成を図っている。また、JR住吉駅、阪神電鉄魚崎駅には地上に降りずに乗り換えができるよう連絡通路を設置するとともに、全駅にエレベーターを設置し、お年寄りや身体の不自由な方のための配慮もなされている。



南魚崎駅の運転司令所

六甲島検車場

マリンパーク駅西約640mに位置する六甲島検車場では入庫検査、2日毎の列車検査、2か月毎の月検査、2年毎の重要部検査、4年毎の全般検査を実施して、運行の安全確保を図っている。レイアウトは無人操車の特長を活かしており、効率的な保守運営が可能である。



受賞の理由

ポートアイランドにつぐ第2の海上文化都市を創出するため、新たな都市インフラ施設が整備されたが、六甲アイランド線はその根幹的な施設となるものである。総延長4.5km、その間に6駅を擁する一大プロジェクトであり、周辺景観との調和を図り、美しい景観の創出に努めつつ事業完成にこぎつけたことなどが評価された。

